

南砺市コロナ危機打開・未来希望プロジェクト  
なんと！ビジネスプランコンテスト 事業PRシート

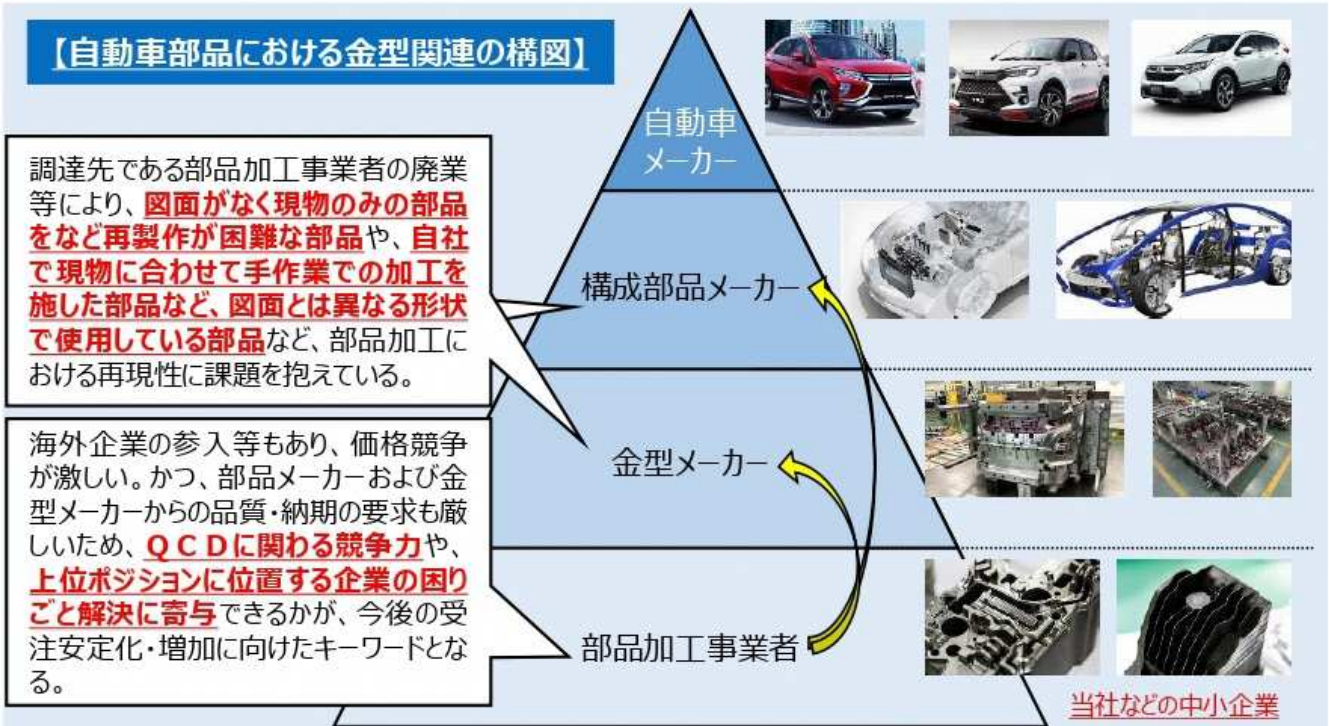
事業者名	株式会社リバン・イシカワ
ビジネスプランの名称	リバースエンジニアリングを応用した復元技術により、南砺市の文化財を後世に伝承する
<u>ビジネスプランの概要</u> <p>当社は、1970年の創業以降、金型部品に特化した加工メーカーとして各種部品製造を手掛けており、金型部品製作及び機械部品、多品種部品加工、同時5軸加工を行ってきました。</p> <p>コロナ禍の影響により、当社の主要事業である自動車業界を取り巻く環境が悪化し、大きな打撃を受けました。コロナ禍の影響や海外メーカーの参入があり、価格競争など競合他社との競争が激しくなる中、新たな価値を創造する必要性があると感じ本ビジネスプランを策定しました。</p> <p>本ビジネスプランでは、当社における新たな付加価値を創出し、価格競争を避けて高い収益性を確保するために、『リバースエンジニアリング*』技術を習得し、産学官での連携を図りながらその技術を応用し、南砺市の文化財保存・修復に取り組むことを目指していきます。</p> <p>※『リバースエンジニアリング』とは、物から3Dデータや図面を作成し、デジタル化する手法です。</p> <p>具体的に本事業では『当社の部品加工技術における付加価値創出』と『文化財の保全に向けた3Dデータの活用』を主な効果として取り組みを進めていきます。（事業イメージは裏面参照）</p> <p>1つ目の『当社の部品加工技術における付加価値創出』に関してですが、自動車業界における当社の顧客である構成部品メーカーおよび金型メーカーは、『図面が無く、再製作が困難な部品』や『メーカー自社で現物合わせを行い、図面とは寸法が異なる部品』など、現在使用している部品の再現性に課題を抱えており、本事業の成果をもとに課題解決を提案していきます。</p> <p>2つ目の『文化財の保全に向けた3Dデータの活用』に関しては、南砺市そして富山県にも多数ある文化財の保存・修復に寄与する取り組みです。文化財は、保管・維持作業を行いながら後世に現物を残していくこと、現代の人が実際に目で見て歴史を実感することが大きな役割であると思っています。本事業において『リバースエンジニアリング』技術を習得し、南砺市を中心とした富山県の文化財の保全に向けた3Dデータの活用を想定しています。</p> <u>南砺市への経済効果や地域への影響など</u> <p>本ビジネスプランの成果によって、地域の文化財の保存・修復に寄与することができれば、これまで形成されてきた地域の文化を伝承することにつながり、一つの地域貢献の形だと考えています。</p> <p>また、当社の金型部品加工において、電極や治具の製作において南砺市内の家族経営の小規模事業者を外注依頼を出すことが多くあります。本事業の成果として当社の受注量が増加する場合は、電極や治具の消耗頻度や活用頻度が高くなり、必然的に地域の小規模事業者への発注量も増加し、協力会社様の売上高増加にも貢献することができると考えています。</p> <p>当社単独においても受注量の増加は業績の安定をもたらし、雇用の創出と既存社員の賃上げ、税金面での地域貢献度も高くなると考えています。</p>	

## 事業の全体像について

下図の通り、本ビジネスプランには2つの効果を見込んでいます。

- ◆ 『当社の部品加工技術における付加価値創出』
- ◆ 『文化財の保全に向けた3Dデータの活用』

### 【自動車部品における金型関連の構図】



### 【地域自治体が抱える文化財に関するニーズ】

- 地域が有する魅力（地域資源）の一つとして文化財がある。また、地域の住民・子供たちに地域文化を継承することにも文化財は必要不可欠である。
- 文化財は風化や自然災害による破損などの恐れがあるものが多く、その背景から、**後世に残すためにデジタルデータとして保存する必要性**が高まっている。  
→日本全国の自治体で事例多数あり。
- 富山県においては、富山大学芸術文化学部が、令和2年4月1日に「文化財保存・新造形技術研究センター」を設置し、最新のデジタル機器やソフトウェアを駆使してデータ調査、分析を行い、それらを応用して今後の新しい文化財保存修復の考え方やノウハウを確立する動きがある。

産学官連携で、  
地域資源の  
保全に寄与

モノづくりにおける  
取引先企業の  
課題解決を実現

### 【リバースエンジニアリング技術】

- 現物をスキャンし数値化し、3DCADデータを作成することができる。
- そのデータを基に、3Dプリンターでのサンプル作成や、加工で使用するプログラムに活用することができる。